

## IPO銘柄 ノバレーゼ (9160・スタンダード)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限PER）	主幹事証券
9160	100株	公募：0.00万株 売出：1,088.15万株（OA163.22万株）	550円～600円 （8.1倍）	野村證券



## プライベート感を演出する「ゲストハウス・ウエディング」を提供

## ■事業内容

ブライダル事業が主力。ブライダル事業では婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門がある。婚礼プロデュース部門は挙式・披露宴に関するさまざまなアイテムを用意し、オーダーメイド型挙式を通じて「オリジナル感」を演出。1会場1バンケットを基本とし、挙式・披露宴会場を貸し切ることにより、新郎新婦、参列者に対して、プライベート感を演出する「ゲストハウス・ウエディング」を提供している。婚礼衣裳部門では、「NOVARESE」と「ecruspose」という2つのブランドでドレスショップを展開。ブライダル事業とは別に、レストラン特化型事業も運営。高級店からカジュアルレストランまで幅広い顧客に飲食を提供している。23年12月期1Q実績の売上高構成比はブライダル事業が96.3%、レストラン特化型事業が3.7%。

## ■特徴

婚礼プロデュースでは、20代後半から30代前半の世代を中心とした顧客層を対象とし、都会的な雰囲気や自然に囲まれた開放的な雰囲気等を演出するシンプルでスタイリッシュなゲストハウスを特徴として打ち出している。婚礼衣裳は設立当初からドレスショップを運営し、婚礼衣裳部門の独自ブランド確立に尽力。パリ、ミラノ、ロンドン、ニューヨークなどからドレスを買付け、ウエディングドレスやタキシード、和装のレンタル・販売を行っている。

## アナリストコメント

## ■定量分析

23年12月期の連結税引前利益は前期比11.8%増の27億7,700万円を計画する。新型コロナ後の需要回復に恩恵を受け、業績は順調に推移する。新規出店も順調で、業績面への期待は高まっている。

## ■定性分析

個人投資家人気の高まりにくい再上場案件で、かつ初値上昇率が抑制されるケースの多いスタンダードへのIPO。東京市場全般の好地合いに乗って投資マインドは良好だが、人気面には不安を抱えている。

## ■需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は75億円程度。スタンダード市場への上場案件としては荷もたれ感が意識される規模となっている。再上場案件で買い人気が高まりにくいことを考慮すると、需給面にも不安が残る。

（小泉 健太）

## ■類似企業

ノバレーゼ (9160・スタンダード)	予想PER 8.1倍 (仮条件上限)
テイクアンドギヴ・ニーズ(4331・プライム)	予想PER 8.8倍
エスクリ(2196・プライム)	予想PER 1.8倍

## ■引受証券

野村證券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券、大和証券、みずほ証券、楽天証券、松井証券、SBI証券

## 業績・財務指標

	売上収益 (百万円)	前年比 (%)	税引前利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
21年12月期(実績)	11,191	52.6	539	黒転	374	黒転	15.0	—
22年12月期(実績)	17,222	53.9	2,485	4.6倍	1,656	4.4倍	66.3	—
23年12月期(会社予想)	20,114	16.8	2,777	11.8	1,860	12.3	74.4	—

※23年5月に株式分割（1株→200株）を実施。21年12月期および22年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	親会社所有者 帰属持分(百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	親会社所有者 帰属持分比率(%)	親会社所有者 帰属持分利益率(%)
21年12月期	125,000	32,626	5,587	100	223.5	17.1	6.9
22年12月期	125,000	31,980	7,234	100	289.4	22.6	25.9

※21年12月期および22年12月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	ポラリス第三号投資事業有 限責任組合	18,798,200	70.04
2	Tiara CG Private Equity Fund 2013,L.P.	6,201,800	23.11
3	荻野 洋基	666,600	2.48
4	増山 晃年	400,000	1.49
5	中原 准志	266,600	0.99
6	小林 雄也	213,400	0.80
7	鈴木 一生	133,400	0.50
8	西多 由智	53,400	0.20
8	倉橋 実	53,400	0.20
10	横田 哲郎	26,600	0.10
10	福本 光信	26,600	0.10

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役 社長	荻野 洋基
取締役 執行役員 管理本部長	増山 晃年
取締役 執行役員 営業本部長	小林 雄也
取締役 執行役員 ビジネスサポート ディビジョンディビジョンマネージャー	中原 准志
取締役	大野 直彦
取締役	橋本 眞史
取締役	等 健次
常勤監査役	吉川 滋
監査役	真田 雅行
監査役	平地 辰二

# ウェルスアドバイザーIPOレポートの読み方

## 特徴

ウェルスアドバイザーIPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、ウェルスアドバイザーが位置する中立的な第三者としての立場からIPOに関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPOへの参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。ウェルスアドバイザーIPOレポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間などIPO日程のほか、ウェルスアドバイザーの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

- ※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。
- ※2 ブックビルディング: 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げてPERを併記いたします。PERの水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、ウエルスアドバイザー株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（[http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690\\_kajji.html](http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kajji.html)）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者 登録番号：関東財務局長（金商）第44号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
-----------------------------------------------------------------------------------------------------